



女子硬式野球・第7期チーム日本代表選手  
大山 唯さん

## 狭山の元気 発見



モットーは明るく・元気に・笑顔で」

野球は本当の自分が一番表現できる 心から楽しめるもの

野球を始めたきっかけは、野球しているときのお父さんが楽しそうだったから、自分でもやってみたいと思って、「まぶしい笑顔で答えてくれる大山唯さん。高校球児だったお父さんの影響で小学3年生から野球を始めた唯さんは、女子硬式野球の第7期日本代表になるまでの実力になりました。現在、人間川中学校の2年生です。

唯さんは、市内の少年硬式野球チームに所属し、紅一点ながらもレギュラーの座を維持しています。初めは軟式の少年野球チームに入部し、中学1年生で現在の硬式野球チームに籍を移しました。硬式野球の日本代表女子チームがあることを知り、「自分もチャレンジしたい」と思い始めたからです。しかし、軟式と硬式ではボールの硬さの違いをはじめ、さまざまな危険が伴います。最初は心配のあまり、お母さんは反対だったそうです。が、それでも諦めなかった唯さん。「最初から女子チームではなく、男子と一緒にプレーするこ

とで、自分のレベルを高めたかった」と、自らへの厳しい姿勢で夢の扉を開きました。

守備で初めて硬球を握ったとき、軟球とは違うゴロやバウンドに、戸惑いばかりか怖さもあ

りました。が、硬球をバットの芯で捉えたときは、言葉にできないくらい爽快で最高の気分だったとか。しかし、中学生ともなれば、男子と女子の運動能力の差は大きくなります。そ



野球に出会わせてくれたお父さんと、応援してくれるお母さんに感謝しています

できるよつに、気持ちを落ち着かせることに集中しました」と、スポーツ選手に求められる精神的な強さを覗かせてくれます。

れを彼女は、帰宅後の素振りやトレーニングなどを重ねてカバーしようとして努力しています。辛くてもやれば結果はついてきます。野球のためならどんなことでも苦になりません」と、その言葉からは、野球に対する愛着と向上心が伝わってきました。

日本女子野球協会では、世界レベルの試合に臨むため、日本代表メンバーを選考するセレクションを行っています。条件は「野球好きの女性であること」。

今月13日から予定されている全米女子チームとの招待試合を楽しみにしている唯さん。これからの目標は、経験を積んで、技術的にも精神的にも成長していきたい」と、そして、野球は男のスポーツというイメージを変えていきたい。女子の競技人口が増えてほしいです。野球と共に生きたいと望む唯さんは、たくさん可能性を秘めて大きく飛躍しようとしています。そんな太陽のよつに輝く笑顔の持ち主を、皆さんも応援してください。



岩瀬イセコさん  
(広瀬在住)

私は、現在85歳です。先日、埼玉県の、8020よい歯のコンクールで表彰を受けました。今も29本の自分の歯で、食べる楽しみを味わっています。口の中を清潔にするのはもちろん、小魚などの硬いものを好み、食事もよく噛む。これが私の習慣です。そして何より、丈夫な歯を与えてくれた母にとっても感謝しています。

ますます私がお腹の中にいるころからカルシウムなどを摂り、子どもの私に歯に良い習慣をつけてくれたのだと思います。そのおかげで今、歯だけでなく、心身ともに、元気で健康に過ごせる毎日を送っています。

いつまでも自分の歯でおいしく噛めるのは、とても幸せなことです。歯の健康は、身体の健康

## いつまでも自分の歯でおいしく 歯の健康は 子どものころからの習慣づけが大切です

にも通じるのではないのでしょうか。歯の大切さを伝えること、特に妊娠中の方や小さなお子さんのいる方には、考えていただきたいと思えます。

市の考えかた  
貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

8020運動は、80才になっても20本以上の自分の歯を保つことで豊かな人生をと、展開している運動です。毎日の歯磨きや定期的な歯科健診など、心掛け次第で一生自分の歯を健康に保つことができます。なお、30歳以上の市民の方には成人検診の一環で成人歯科(歯周病)健診を実施しています。ぜひご利用ください。

担当 保健センター

広報課では、皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、必ず住所、氏名、電話番号をご記入ください。

☎29546262代 Eメール koho@city.sayama.saitama.jp



優勝杯を手に笑顔がほころびます  
「連覇はない」がこの大会のジンクス。しかし、私たちはこれまでのジンクスを破るという新たな目標を掲げました。その目標にチャレンジするため、チーム一同、来年へ向けて決意を新たにしています。

## くらしや 広瀬町 菅三自治会

本年度の入間川地区ソフトボール大会で、私たち菅三自治会は、初優勝を成し遂げました。

25回を数えるこの大会は、8月21日に開催され、3回戦を勝ち進んだ4チームが、28日に入間川中学校で行われた準決勝・決勝戦に臨みました。いずれの試合も熱戦が繰り広げられ、会場はたくさんの声援が飛び交いました。そして私たち菅三チームは、優勝までの5回戦すべてをダブルスコアで制する最高の結果で、念願の優勝杯を手に入れました。

## Assistant Language Teacher



Joseph Tait  
ジョセフ・タイト  
(入間川中学校勤務)

ニュージーランド出身  
狭山市のALTとして9年6か月め  
趣味は格闘技、ラグビー、スポーツ観戦

Hello, everyone. Coming from New Zealand of course I am a big rugby fan. And in the news lately is Japan's bid for the 2011 Rugby World Cup. Other countries competing for the World Cup are New Zealand and South Africa. While those two countries are two very strong rugby countries. I think Japan has a real chance of holding the cup. Japan has great stadiums, and the Japanese showed at the Soccer World Cup what great supporters of sport they are. If the Rugby World Cup does come to Japan, I for one, will be in Seventh heaven.

みなさん、こんにちは。ニュージーランド出身の私は、大のラグビーファンです。最近のニュースは、2011年ラグビーワールドカップを日本へ招致すること。このワールドカップの招致に向けて日本と競っている国は、ニュージーランドと南アフリカです。この2国はとても強いラグビー国ですが、日本にはワールドカップ開催のチャンスがあると思います。その理由は、素晴らしいスタジアムがあり、サッカーワールドカップで見せたように、この国には素晴らしいスポーツのサポーターたちがいるからです。そしてもし、ラグビーワールドカップが日本に来たら、少なくとも私は、天にも昇る気持ちになるでしょう。

(英文の要約)